福岡・鎮西合同俳句会三月句会結果

天　菜畑に見え隠れする帽子かな　（霊峰）
地　雛飾り老いて並びし笑顔かな　（無尽）
人　茶の脇に赤福一つ伊勢に春　（白堂）
人　鶯の初音つたなき朝かな　（霊峰）

1 スマホ手につくばふ妻や蕗の薹（霊峰）2
2 逃水や飲み水よりも深刻で（ちせい）
3 手術待つ患者静かに春の夜（寶州）4
4 花の下五十鈴の水はなお凍てり（白堂）1
5 散歩道見渡す限り土手青む（無尽）2
6 コンビニの焼芋ひとつ妻と分く（宗道）4
7 和布付く木の椀明日も使ふだらう（ちせい）
8 老師摘む苦み優しきフキノトウ（慧澄）4
9 ふきのとう掌（たなごころ）ごと頂戴し（霊峰）4
10 よくぞ又うれしき今朝の初音かな（宗道）1
11 こぶし咲くよくぞ地球に生まれける（宝蔵）2
12 遠雷の音かすかなり春炬燵（無尽）7
13 茶の脇に赤福一つ伊勢に春（白堂）8
14 砂出しの浅利茶色も混じりけり（ちせい）2
15 摂心会帰り来れば雪柳（寶州）3
16 雛飾り老いて並びし笑顔かな（無尽）10
17 春思う母の小言で飲んだ酒（松原）2
18 ひたすらに待つ退院よ土筆かな（寶州）4
19 花便りとび交（か）ひ心うはの空（宗道）1
20 鶯の初音つたなき朝（あした）かな（霊峰）8
21 梅に桃桜で人を酔わす春（慧澄）1
22 春雨や尾藤珈琲飲みし過去（ちせい）
23 鶯の声や神社は静もりて（寶州）2
24 春めくや地打つ杖の散歩かな（無尽）4
25 初桜ひとりたたずみ見上げをり（宗道）4
26 菜畑に見え隠れする帽子かな（霊峰）12
27 春場所やまさかの優勝稀勢の里（寶州）1
28 水草生ふ青空落ちて来る気配（ちせい）1
29 聞耳（ききみみ）を立つれば潜（ひそ）む初音かな（宗道）6
30 昼めざめあくび一声水温む（無尽）2
31 典座あり縄の襷でただ独り（白堂）1
32 はくれんや退屈そうな猫の顔（霊峰）4
33 摂心済み一人山で日なたぼこ（宝蔵）2

次回4月句会の投句締切は二十七日（木）です。あまり余裕がありませんが、今回は必着でお願いします。